



盛大に第25回健康まつり

ご参加、御協力有難うございました

5月20日、大和高田市幸町のJ R高田駅東口広場と広場に隣接する奈良県産業会館を会場にして、健康まつりが開かれました。主催は健生会友の会。参加者数は4500人（主催者発表）。

会場では体力測定、健康チェックや相談、献血、講座など健康に関する種々の催しの他、各地、各団体の模擬店、舞台での踊りや唄など多彩な取り組みが行われました。土庫病院友の会山歩きクラ

ブも「二上山に咲く花」写真展やこれまでの例会登山の写真展示などを行いました。

また友の会葛城支部のわらびご飯とメロンパンは「美味しい」と大好評で、すべて売り切れました。頑張られた皆さんご苦労様でした。参加された皆さん有難うございました。

2人の方が山歩きクラブに入会されました。

尚、国民救援会が行った「使わなくなった山道具バザー」は14900円の売り上げ。このお金は冤罪で苦しむ人々の救援活動に充てられます。御協力くださいました皆さんに感謝申し上げます。

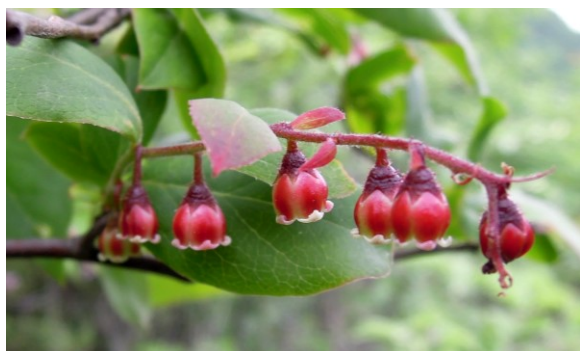


二上山だより

5月21日三日ぶりの二上山登山。「三日見ぬ間の桜」という言葉がありますが、山は色合い様々な新緑から「緑濃き夏山」へと一変していました。ホトトギスの声が強く響き、ツツドリがとぼけた声で鳴いています。路傍の卯の花（ウツギ）は **下エゴノキ** 花数を増やして頭上

上 ナツハゼ に垂れ下がり、エゴノキが白い花と共に小さな葉巻のようなオトシブミまでぶら下げています。

尾根筋に上がるとガンピが枝の先から四方へ花を突き出





上 ガンピ

し、ナツハゼがフリルの付いた可愛らしい花を連ねています。谷筋ではコアジサイが開花を準備し、シライトソウがひっそりと花穂を伸ばしているのです。間もなくササユリが優美な姿を見せるでしょう。二上山はいい山ですねー！



上コアジサイ

そして雌岳山頂では多くの人達が、空を見上げて金環日食の完成を待ちわびていました。私も原谷さんから熔接用マスクをお借りして完全につながった金環を見ることが出来ました。歴史的瞬間でした。原谷さん有難うございました。



戦争の起源と古代初期国家成立過程を学ぶ

厚生会友の会主催 連続講座「地域の歴史を学ぶ」第二回

5月26日「地域の歴史を学ぶ」2回目の講座が行われました。会場は大和高田市の厚生荘多目的室。受講者41名。

テーマは「初期国家の成立—邪馬台国論争とかかわって—」で、講師は第一回目に引き続き元宇都宮大学教授・前五條市立博物館館長の石部正志さんでした。

講師は前回の内容にも触れながら、水稻農耕がもたらされて、日本でも「原始から古代へ」「無階級社会から階級社会へと」大きな変化が起こり、余剰生産物が生じ、人口が増大するとともに、農地・水・鉄の獲得競争が起こったこと、そして次第に争いの規模が大きくなり、戦争をするようになったことを、「魏志倭人伝」の記述や弥生遺跡に見る戦争の形跡(武器の変遷や人骨の殺傷痕など)を具体的にしめして説明しました。

そして余剰生産物の管理・分配の担当者から首長が現れたこと、それが弥生中・後期に全国的に作られた墳丘墓とその変化に示されていること、さらに大首長の出現から初期ヤマト政権の確立への歴史を古墳や遺跡で裏付けながら、明らかにしました。邪馬台国論争については纏向遺跡の発掘でほぼけりがついたとの見解が示されました。

また有力首長たちが最高主権を卑弥呼に委ね、結束して支配者となった一方で、人々が全人格を首長に隷従する被支配者・被搾取者になったと述べました。

講演後の質疑も活発に行われ、参加者から「歴史は面白い。今後も勉強していきたい」との感想が多く寄せられました。次回講座は6月16日(土)13時半から、講師は石部正志さん。テーマは「律令国家の成立」です。

